

オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験

【施策の概要】

既存の公共施設を、民間や地域の知恵で有効活用することは重要であり、なかでも、道路の利活用については、街に活気を与えるイベントやオープンカフェなどの取組みが各地で増加しつつあり、道路は多様な住民活動の場として高いポテンシャルを有すると考えられています。

「オープンカフェ等地域主体の道活用」は、地域の住民団体やNPO等が、地域のニーズや実情に応じて、道路空間をより柔軟に活用するなど、街の賑わい創出などの観点から、道を活用して継続的に行う地域活動（オープンカフェ、美化活動など）の円滑化を図る取組みです。

「オープンカフェ」：山口県宇部市における実施状況（平成 15 年 9 月～11 月の 28 日間）



「地域主体の道活用」：福岡県福岡市における実験実施状況（平成 15 年 9 月～10 月の 10 日間）

